

# 講座「まなびはく」

## 松谷武判を知る

2023年9月3日 [日] 13:30-15:00 (予定) 講義室

定員100名 | 聴講無料

※当日11時より入場整理券を配布します  
(お並びのご本人様お一人に1枚ずつ)

中期「具体」の主要なメンバーであり、1966年以降パリを舞台に活躍を続ける松谷武判さんをお迎えし、具体美術協会との関係、パリでの生活とお仕事、作風の展開などについてお話をうかがいます。

講師：

松谷武判 (美術家)

1937年大阪市生まれ。初め日本画を志すが、後に洋画に転向。1960年の第9回具体美術展に出品。1962年からビニール接着剤を用いたレリーフ状の作品を制作。1963年具体美術協会会員となる。1966年にフランス政府給費留学生として渡仏、翌年S・W・ヘイターの版画工房に入門。1970年代後半より鉛筆で黒く塗りつぶした作品を発表、後に代表作の一つとなった。現在もパリを拠点にヨーロッパや日本において活発に発表を続けている。今年の6月にはポンピドゥーセンターで開催された「Moviment 第7章」にて展示およびパフォーマンスを行った。2023年9月にTARONASU (東京) で個展を開催予定。

聞き手：

尾崎信一郎 (鳥取県立美術館館長予定者)

鳥取県立美術館整備局美術振興監。1992年大阪大学文学部大学院芸術学専攻博士課程単位取得修了。1987年より兵庫県立近代美術館の学芸員、1995年より国立国際美術館の研究員、1998年より京都国立近代美術館に主任研究官、2006年より鳥取県立博物館に勤務。2022年より現職。専門は日本とアメリカの現代美術。2022年10月に『戦後日本の抽象美術: 具体・前衛書・アンフォルメル』を刊行。

### 次回予告



ワークショップ「びはくルーム」  
ミニ講座 & 製本ワークショップ

書物の歴史探訪  
一本のカタチは物語る

10月29日 [日]  
13:00-16:00

書かれている内容だけではなく形状や素材、製本方法にも様々な情報が詰まっている書物。その歴史に触れ、小冊子の手製本を体験します。

講師：藤井かおり (NPO法人「書物の歴史と保存修復に関する研究会」講師)

会場：芦屋市立美術博物館 体験学習室

対象：小学5年生以上 15名 \*要事前申込

材料費：2,000円

申込期間：10月1日 [日] - 10月20日 [金]

## 芦屋市立美術博物館

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25  
ashiya-museum.jp

◎アクセス情報

徒歩 | 阪神電車芦屋駅から南東へ約15分

バス | 「新浜町」行きまたは「芦屋市総合公園前」行き  
(31・32・35・36・131系統) 乗車、「緑町 (美術博物館前)」下車、

徒歩2分 (バスのりば・阪神電車芦屋駅南側2番のりば、  
JR芦屋駅北側5番のりば、阪急電鉄芦屋川駅南側5番のりば)

※併設駐車場1時間無料

